

令和5年6月27日

市政記者 各位

「令和5年度福岡市主要施策概要」について

この度、令和5年度に福岡市が取り組む主要な施策・事業等を掲載したパンフレットを作成しましたので、お知らせいたします。

記

1 配布・閲覧時期

令和5年6月27日から

2 配布・閲覧場所

市役所1階情報プラザ、各区（各出張所）情報コーナー

※福岡市ホームページにも掲載します。

URL：<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/shisei/sesakugaiyou.html>

【問い合わせ先】

〒810-8620

福岡市中央区天神1丁目8番1号

福岡市総務企画局企画調整部

担当：尾上、福島

TEL：092-711-4086 FAX：092-733-5582

E-mail：kikaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp

令和5年度 福岡市 主要施策概要

PROJECT OF FUKUOKA



■令和5年度の施策推進にあたって

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざして、まちづくりを進めています。

福岡市の未来、日本全体の未来を切り拓いていくために、子ども一人ひとりが自分らしくいきいきと輝き、将来に夢を描きながら、心身ともに健やかに育っていくまちづくりに全力で取り組んでまいります。また、子どもを望む人が、安心して出産、子育てができるよう、経済的負担の軽減や、社会全体で子育て世帯を見守る取組みなど、子育て支援をさらに充実してまいります。

令和5年度においては、

- ①次代を担う子ども、グローバル人材の育成
- ②見守り、支え合う、共創の地域づくり
- ③都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進
- ④新しい価値の創造にチャレンジするスタートアップ都市づくり

という、総合計画に沿った4つの重点分野に力を入れてまいります。

● FUKUOKA NEXT

「FUKUOKA NEXT」は、この元気で住みやすいまちをさらに発展させ、将来に引き継いでいくために、福岡市を次のステージへと飛躍させる、様々なチャレンジの総称です。この取組みを果敢に進めることで、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指します。



●福岡市のSDGsの取組みについて



SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略で、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために、2015年の国連サミットで採択された、2030年を期限とする17の国際目標です。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」に基づき、経済的な成長と、安全・安心で質の高い暮らしのバランスが取れた、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めることにより、SDGsの達成に取り組んでいます。

1

次代を担う子ども、グローバル人材の育成



多様な保育需要への対応や児童虐待防止対策など、安心して子どもを生み育て、すべての子どもが心身ともに健やかに成長できるとともに、女性はその能力を十分に発揮し活躍できる環境づくりを進めます。また、さまざまな体験・活動などを通じて、社会性や公共心を持ち、心豊かでたくましい、国際性豊かな子どもの育成を図るとともに、大学や専門学校等の集積を活かしながら、グローバル人材の育成・定着を図ります。

子育て支援の拡充

多子世帯への支援

第2子以降の保育料無償化

令和5年4月から保育所等に通う第2子以降の保育料を無償化します。

予算 23億3,516万円

第2子以降の産後ヘルパーの利用回数を倍増

第2子以降で、きょうだいが未就学児の場合は、産後のヘルパーの利用回数の上限を20回から40回に拡充します。

予算 603万円

子育て世帯住替え助成を拡充

子育てしやすい居住環境づくりの促進などを図るため、子育て世帯の住替えに係る初期費用の一部助成を行います。また、上限額の引上げ要件を子ども2人以上に拡充し、経済的負担の軽減に取り組みます。

予算 1億3,615万円

サポートを必要とする子どもへの支援

障がい福祉サービスの利用者負担軽減

障がい福祉サービス利用料について、令和6年1月から所得制限を廃止し、就学前の障がい児は無償に、学齢期の障がい児は、毎月の負担上限額を一律3,000円に軽減します。

予算 1億2,435万円

子ども食堂に対する助成の拡充

子どもが健やかに育成される環境整備を促進するため、子ども食堂の運営団体に対する助成の拡充及び開催場所等に係る情報提供、広報強化等を実施します。

予算 1,771万円

全ての子育て家庭への支援

おむつと安心定期便

子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てができる環境づくりをすすめるため、0～2歳の子育て家庭を見守りながら定期的におむつ等をお届けします。

予算 11億7,119万円

子ども医療費の助成対象を高校生世代までに拡大

令和6年1月から入院は無料、通院は自己負担を一律500円までとする「ふくおか安心ワンコイン」を高校生世代までに拡大し、すべての子どもたちが安心して医療を受けられる環境づくりを推進します。

予算 61億1,677万円

産前・産後ヘルパー、産後ケアの利用料を大幅軽減

産後ケア事業と産前・産後ヘルパー派遣事業の利用料を軽減します。

また、ヘルパー派遣を妊娠期から利用できるよう拡充し、さらに産後のヘルパー派遣の利用期間を生後6か月未満から生後1年未満に拡大します。

予算 1億4,588万円

医療的ケアが必要な児童生徒への通学支援

福祉タクシー等を活用し、通学中に医療的ケアが必要な特別支援学校児童生徒の登校支援を試行的に実施します。

予算 1,090万円

教育データ連携基盤の構築

データ駆動型教育への転換に向け、各種教育データを可視化し、個別最適な学びと効果的な教育施策の立案等を推進するため、「教育データ連携基盤」の構築に着手します。

予算 9,716万円(令和6年度予算を含む)

学力パワーアップ総合推進事業

個別指導が必要な児童を対象に、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図るため、地域人材等を活用した放課後の補充学習（ふれあい学び舎事業）を実施します。

予算 3,404万円

学級集団アセスメント事業

いじめや不登校の未然防止及び早期発見のため、Q-Uアンケート（学級における児童生徒の状況を把握するためのアンケート）を小・中学校の全学年で実施します。

予算 4,395万円

不登校児童生徒等へのICTを活用した支援の充実

不登校または不登校傾向にある児童生徒の社会的自立や学校復帰に向けて、オンラインルームを開設するとともに、アウトリーチ支援を充実させるため、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーへのタブレット端末配備を拡大します。

予算 252 万円

動画教材を活用した学びの改革検証事業

小・中学校のモデル校での授業や不登校児童生徒の学び直しなどで動画教材を活用し、効果を検証します。

予算 990 万円

部活動支援事業

部活動指導員・支援員を増員し、部活動への支援の充実、教員の負担軽減、地域連携を図ります。また、地域移行モデル事業を拡大し、さらなる課題検証を行います。

予算 1 億 9,347 万円

学習指導員派遣事業

授業時間中のチーム・ティーチングによって児童生徒の学習をサポートするなど、学校教育活動を支援する人材を派遣します。

予算 7,753 万円

自閉症・情緒障がい特別支援学級の整備

対象となる児童生徒数の増加等に伴い、自閉症・情緒障がい特別支援学級を大幅に拡大します。

予算 1 億 3,401 万円

2 見守り、支え合う、共創の地域づくり



住みなれた地域で誰もが安心して暮らしていくことができるよう、見守り、支え合う持続可能な仕組みづくりに取り組むとともに、地域の絆づくりや新たな担い手づくりをはじめ、さまざまな主体が共に地域の未来を創り出す取組みを推進します。また、それぞれのライフステージに応じた健康づくりや生活習慣の改善の支援に取り組み、社会全体で健康寿命の延伸を推進し、誰もが健康で生きがいを持ちながら地域社会で活躍できる生涯現役社会の実現を目指します。

「福岡100」の推進～人生100年時代に向けて～

福岡100
何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ

「福岡100」は、人生100年時代に向けて、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる持続可能なまちを目指すプロジェクトです。市民の皆さんはもちろんのこと、企業や大学などの知恵や工夫を取り入れ、「オール福岡」で推進します。

Fitness City プロジェクトの推進

「住むだけで健康になるまちづくり」に向け、公園や道路、駅などの身近な環境を活用し、自然と楽しく体を動かしたくなる、仕組みや仕掛けづくりに取り組めます。

予算 6,393 万円

オーラルケア28(にいはち)プロジェクトの推進

治療よりも予防に重点を置き、関係機関と協力しながら、各ライフステージの特性に応じた効果的な歯科口腔保健推進プロジェクトを実施します。

予算 3,549 万円

福岡シェアダイニングモデル事業

孤立の予防・解消、Well-beingの向上を目指すため、日常生活に欠かせず、かつ楽しみや自然な交流ができる、「食」を通じた多世代交流の居場所づくりを実施します。

予算 800 万円

認知症フレンドリーセンターの開設

認知症フレンドリーシティ・プロジェクトの取組みを集約し、市民や企業に最新の知見・技術等を提供するとともに、国内外に発信する拠点を開設します。

予算 7,927 万円

認知症フレンドリーな商品・サービスの開発支援

認知症とともに暮らせる共生社会の構築を目指し、企業に対して、認知症の人との協働に関するノウハウなどを提供し、認知症フレンドリーな商品・サービスの開発を支援します。

予算 628 万円

フレイル予防ハイリスク者支援事業

医療・健診・介護データを活用し、加齢とともに心身の機能が低下する「フレイル」のリスクが高い方を抽出、保健師などが訪問し、介護予防につながる様々な支援を行います。

予算 1,815 万円

分身ロボットを活用した就労支援事業

外出困難な重度障がい者等が、分身ロボットを遠隔操作して、自宅に居ながら市の関連施設や高齢者施設での就労にチャレンジする実証事業を行います。

予算 1,945 万円

重度障がい者等就労支援事業

重度障がい者等の通勤や職場における支援の対象を自営業者に拡大し、重度障がい者等の就労を促進します。

予算 1,079 万円

障がい者の工賃向上に向けた一体的な支援

企業への業務開拓や障がい者施設への受注支援などを一体的に行うセンターを通して、障がい者の工賃向上を支援します。

予算 4,973 万円

発達障がい者支援等施設整備事業



福岡市舞鶴庁舎パース

発達障がい者支援センターと障がい者就労支援センターを集約した一体的な施設と併せて、社会参加の場である中央障がい者フレンドホームを令和5年7月に開設します。

予算 2,007 万円

民生委員をサポートする支援員を全市展開

社会的孤立を背景とした様々な福祉課題を抱えた世帯に対し、民生委員活動のサポートとともに、アウトリーチ支援を全市展開するため、社会福祉協議会に配置した地域共生推進員を増員します。

予算 5,288 万円

地域で防災応援パック

活動のアイデアやノウハウ、きっかけを求める地域に、防災を切り口とした、楽しく・無理なく・そのまま使える活動パッケージを提供し、地域の絆づくりのための活動を支援します。

予算 243 万円

都心の森1万本プロジェクト



都心の森1万本

良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図るため、市民や企業との共働により、都心部をはじめとして全市域における植樹運動を展開し、緑豊かなまちづくりの推進に取り組めます。

予算 1 億 2,215 万円

一人一花運動の充実

植物園において、花・みどりづくり活動の拠点としての機能を強化するなど、まちに彩りと潤いを与え、人のつながりや心の豊かさを生み出す「一人一花運動」の輪を広げ、花による共創のまちづくりを進めます。



ボタニカルライフスクエア
(都市緑化啓発事業拠点施設)



予算 1 億 4,761 万円

在住外国人の生活環境整備事業

転入手続き時の生活ガイダンスの実施や、区役所等における多言語対応の充実のほか、日本語教育の推進を図るとともに、地域における外国人住民との交流を支援し、相互理解を促進します。

予算 4,004 万円

3

都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進



交流人口の増加に向けた取組みを進めるとともに、九州のゲートウェイ都市として多くの観光客等に訪れていただけるよう受入環境の充実を図るなど、都市活力を生み出す観光・MICEを振興します。また、規制緩和による誘導や支援により、民間活力を引き出しながら、都心部の機能や魅力の向上、拠点間のアクセス性や回遊性の強化に取り組むなど、国際競争力のある都市づくりを進めます。

世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会の開催

「世界水泳選手権福岡大会」(7月14日～7月30日)及び熊本市、鹿児島市と3都市で開催する「世界マスターズ水泳選手権九州大会」(8月2日～8月11日)を開催します。



予算 86 億 1,291 万円

都心の水辺の憩いと回遊拠点づくり

リバーフロントNEXTを推進するため、春吉橋迂回路橋上広場及び清流公園の整備や、光と水のイベントの実施など、魅力的な水辺空間の創出に取り組みます。



予算 7,190 万円

市街化調整区域の活性化 ～Work Hard, Play More Hard～ (よく働き、より遊ぶ)

誰もが生き生きと働きながら、豊かな自然を満喫するという“Work Hard, Play More Hard”をコンセプトとして、観光業や農林水産業などの地域産業の振興など地域と一体となって活性化に取り組みます。

Fukuoka East & West Coast プロジェクト

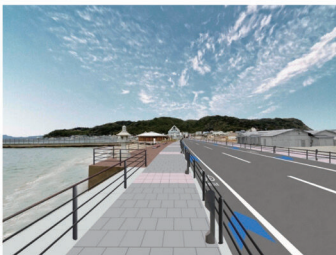
海辺を活かした観光振興事業



海辺の観光周遊コースの形成に向けて、市営渡船と連携した集客促進や、レンタサイクルの導入促進、回遊を促進する立ち寄りスポットの整備・検討等に取り組みます。

また、美しい海辺空間としての魅力を最大限高めるため、豊かな自然環境と調和した道路整備に取り組みます。

志賀島地区の道路整備イメージ



北崎地区の道路整備状況



予算 4億5,152万円

農山漁村地域など市街化調整区域の活性化

地域主体の取組みを支援するとともに、活性化の新たな担い手となる民間事業者の誘致や未利用地の活用など、地域産業の振興に繋がるビジネスの創出に向けた取組みを推進します。

予算 1,000万円

海づり公園を活用した北崎地区活性化事業

Fukuoka West Coast の魅力をアピールする立ち寄り拠点となるようリニューアルを実施し、地域の観光振興・活性化を推進します。

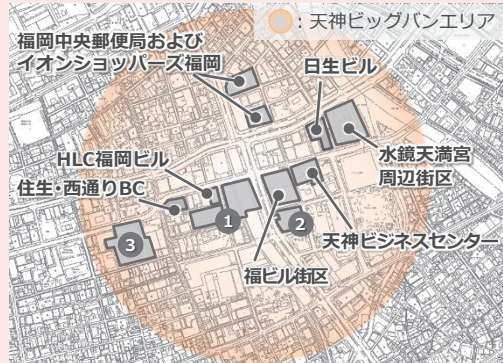
予算 3億7,961万円

天神ビッグバン

天神未来創造



航空法高さ制限の特例承認や市独自の規制緩和などにより、耐震性が高く先進的なビルに建替えるとともに、みどりや文化・芸術、歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、多様な個性や豊かさを感じられる、多くの市民や企業から選ばれるまちづくりに取り組みます。



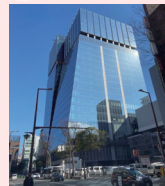
1 天神二丁目南ブロック駅前東西街区プロジェクト



2 天神1-7計画



3 福岡大名ガーデンシティ (令和4年1月～順次供用開始)



天神通線の整備

天神地区における渋滞の緩和や来街者の回遊性向上などを図るため、都市計画道路天神通線の整備に取り組みます。



北側整備イメージ

予算 3,788万円

博多コネクティッド



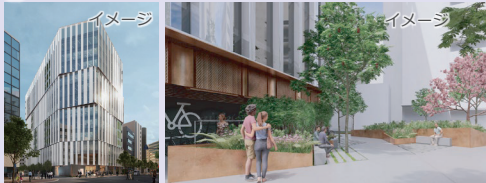
交通基盤の拡充とあわせ、規制緩和などにより、耐震性が高く先進的なビルへの建替えを誘導し、駅周辺地区との回遊性の向上や、多様な個性や豊かさを感じられるまちづくりに取り組むことで、博多駅の活力と賑わいを周辺につなげていきます。



1 博多イーストテラス (令和4年8月竣工)



2 福岡東総合庁舎敷地



3 博多駅空中都市プロジェクト



都心部交通対策の推進

マイカーから公共交通への転換や自動車交通の削減・抑制を図るため、交通マネジメント施策などの都心部交通対策を推進します。

予算 **836** 万円

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり

九州大学箱崎キャンパス跡地等において、地域と共に創り上げたランドデザインの実現を目指し、令和5年4月に土地利用事業者公募を開始しており、引き続き、先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」に取り組むとともに、公募に関する調整や都市基盤の早期整備などに、九州大学やUR都市機構と連携して取り組みます。



予算 **20** 億 **1,461** 万円

九州大学箱崎キャンパス跡地周辺の道路整備

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりと連携し、誰もが安心して移動できる道路空間の形成に向け、無電柱化等の整備に取り組みます。

予算 **3** 億 **850** 万円

4 新しい価値の創造にチャレンジするスタートアップ都市づくり



新たに事業を始める創業や既存企業が新しく事業を生み出す第二創業は、多くの雇用と新たな価値を創り出し、福岡市を支店経済から脱却させるとともに、新しい商品やサービスを生み出し、市民生活を豊かにします。国家戦略特区を推進エンジンとして、福岡市の活力をさらに高めるスタートアップ都市づくりに取り組みます。

スタートアップ支援施設の運営

スタートアップ企業の成長を促進するため、「Fukuoka Growth Next」を運営するとともに市内の創業支援施設と連携し、スタートアップエコシステムの拡充を図ります。



FUKUOKA GROWTH NEXT

予算 **2** 億 **1,214** 万円

急成長を目指すスタートアップの成長支援

スタートアップ都市宣言後10年間の取組みを踏まえ、事業創出・拡大や資金調達を支援し、急成長を目指すスタートアップの輩出と既存スタートアップの更なる成長を促進します。

予算 **7,629** 万円

九州スタートアップコミュニティサミットの開催

九州全体のスタートアップの成長に向け、各地のスタートアップコミュニティが一堂に会するイベントを開催します。

予算 600万円

エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進

先端技術やビジネス等の知見に長けたスタッフをエンジニアカフェに配置し、サービス設計を支援することで、エンジニアによる新サービス・新製品の創出を促進します。



予算 9,716万円

グローバルスタートアップ推進事業

海外スタートアップ拠点との連携を活かしたビジネスマッチング支援や、国際イベントの開催などにより、グローバルに活躍できる創業の環境づくりを進めます。

予算 1億1,251万円

Fukuoka Art Next

アートのある暮らしの推進、FaN Weekの開催



アートのある暮らしの推進や、まちなかをアートで彩るアートイベントを開催します。

R4FaN Weekのオープニングの様子

予算 5,034万円

Artist Cafe Fukuoka機能拡充、運営管理

大型作品の制作・展示に向けた旧舞鶴中学校の体育館の改修や、新たにアーティストの成長につながるプログラムを実施するとともに、アーティストと市民・企業等が交流する機会を創出します。



Artist Cafe Fukuoka

予算 1億2,877万円

アートフェアアジア福岡の官民共同開催

官民共同で開催することで国際信用力を高めるとともに、会場規模を拡大して作品展示を充実させるなど、新たな海外の有名ギャラリーの出展促進を図ります。



アートフェアアジア福岡 2022の様子

予算 600万円

国内外からアーティストを招へいし創作活動を支援

国内外のアーティストを公募し、アーティストカフェでの創作活動や、市民との様々な美術交流活動を支援することで、福岡から世界に羽ばたく人材の育成を目指します。



アーティスト・イン・レジデンス事業
2022年3期_ゴン・ジエション(台湾)

予算 2,442万円

福岡アートアワードによるアーティスト支援

福岡市内で目覚ましい活動をおこない、今後飛躍が期待できるアーティストに、作品の買い上げをもって贈賞し支援するとともに、作品は美術館の所蔵品として展示活用します。

予算 1,222万円

「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げています。

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動と呼び込み、都市の成長を実現させ、都市の活力によりさらに生活の質が高まるという好循環を創っていきます。

PRO. 生活の質の向上 FUKUOKA

1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝くまちづくり



1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり

ユニバーサル都市・福岡の推進



ユニバーサル都市・福岡の実現をめざし、市民や企業等の自発的な行動につながるよう、ユニバーサルデザインの普及・啓発に取り組みます。

予算 839 万円

インクルーシブな子ども広場整備

誰もがお互いを理解し、安心して笑顔で、自分らしく遊ぶことができる「インクルーシブな子ども広場」を、地域や障がい当事者などの皆さまとともに作り上げていきます。



ワークショップの様子



レイズド砂場で遊ぶ様子

予算 1 億 5,750 万円

2 すべての人の人権が尊重されるまちづくり

人権教育・啓発の推進

すべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、あらゆる人権問題の解決を図るため、人権教育・啓発に取り組みます。

予算 8,451 万円

性的マイノリティ支援事業

パートナーシップ宣誓制度の推進など当事者等への支援を行うとともに、啓発週間の新設やふくおかLGBTQフレンドリー企業登録制度の推進など啓発に取り組みます。



予算 565 万円

3 スポーツ・レクリエーションの振興

福岡マラソン開催

第10回となる福岡マラソンを開催します。「人をつなぐ。まちをつなぐ。未来をつなぐ。」を大会テーマに、1万2千人のランナーが福岡から糸島へ駆け抜けます。



福岡マラソン
FUKUOKA MARATHON
2023



予算 1 億 2,772 万円

4 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実

福祉人材確保事業

介護人材の確保を図るため、訪問介護事業所の人材確保支援や介護ロボットのトライアル貸出、介護業界のWell-being向上の取組み等を実施します。

予算 3,536 万円

5

子どもが健やかに育ち、安心して 生み育てられる社会づくり

保育所等の多機能化モデル事業

定員に空きのある保育所等において、保育所や幼稚園に通っていない子どもの定期的な預かりや子ども食堂を実施し、地域の身近な子育て支援施設である保育所等の機能を拡充します。

予算 2,185 万円

子どもの発達支援体制の構築モデル事業

「未就学の障がい児への療育」と「保護者の就労」を支援するため、身近な療育の場として保育所の余裕スペースを児童発達支援事業所として活用するモデル事業を実施します。

予算 1 億 9,299 万円

子どもショートステイ

受入施設の体制強化や里親ショートステイの拡充により、育児疲れや疾病などのために家庭で養育できない子どもを一時的に預かる子どもショートステイの受け皿を拡大します。

予算 1 億 2,814 万円

親子ショートステイ

乳児院や児童養護施設、里親家庭において、親子宿泊による休息や育児のサポートを実施します。

予算 1,092 万円

親子関係づくりサポート事業

乳児院において、親子の愛着形成や良好な関係づくりを促す親子宿泊型の支援や通所プログラムを実施します。

予算 663 万円

2

さまざまな支えあいと つながりのあるまちづくり



6

公民館などを活用した活動の場 づくり

地域集会施設建設等助成事業

自治会・町内会の活動拠点である地域集会施設の新築等への助成に加え、新たに空き家を地域集会施設として活用する際の建物改修費用を助成します。

予算 4,378 万円

3

安全・安心で良好な生活環境の まちづくり



7

災害に強いまちづくり

要支援者の避難訓練の実施

支援者と要支援者の双方が参加するインクルーシブ防災訓練を実施し、地域や福祉事業者により作成された個別避難計画の実効性を検証します。

予算 164 万円

防災DXの推進による災害対策本部機能強化

災害時の避難を支援する防災アプリの機能改修や、り災証明書発行業務の迅速化等に向けたシステムの導入など、防災DXの推進による災害対策本部機能の強化を図ります。

予算 3,343 万円

無電柱化の推進

災害時の電柱倒壊による通行の妨げをなくし、空が見える美しい街並みの形成や、歩きやすい道路空間を確保するため、電線類を地中に埋める「無電柱化」を進めます。

予算 15 億 1,410 万円

災害時の電力確保

区役所の停電対策として、非常用電源の整備等を進めます。

予算 4 億 841 万円

福岡都市圏消防通信指令業務共同運用関連事業

福岡都市圏消防通信指令業務共同運用に、新たに筑紫野太宰府消防組合消防本部が加入します。

また、消防指令管制情報システムの間接更新や、消防救急デジタル無線の更新整備に取り組みます。



福岡都市圏
消防共同指令センター

予算 26 億 5,644 万円

救急体制の充実



救急隊の活動イメージ

人口の増加や高齢化の進展などに伴い増加し続ける救急需要に的確に対応するため、東消防署に救急隊を1隊増隊します。

予算 6,358 万円

8 安全で快適な生活基盤の整備

交通安全対策の推進

誰もが安心して歩ける歩行空間を確保するため、通学路等の交通安全対策を進めるとともに、車両走行情報のビッグデータを活用して設置するハンプ等と車両の速度規制を組み合わせたゾーン30プラスの推進や交差点等の交通安全対策を進めます。

通学路の交通安全対策（周船寺有田線）



歩道整備

歩行空間の確保（田島951線）



路側のカラー化

ゾーン30プラスの推進（千早5丁目）



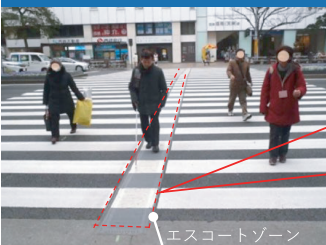
ハンプの実証実験

予算 24億8,925万円

エスコートゾーンの推進

福岡市バリアフリー基本計画に基づき、生活関連経路のうち視覚障がい者の移動上の安全性を確保することが特に必要と認められる箇所において、県警察と連携してエスコートゾーンの設置に取り組みます。

エスコートゾーンの設置（天神）



エスコートゾーン



視覚障がい者が道路を横断する際の安全性・利便性を向上

予算 1億1,000万円

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）

西鉄雑餉隈駅付近で踏切による事故や渋滞解消のため令和4年度に鉄道の高架化を実施しています。引き続き桜並木駅（新駅）開業を目指し、駅舎整備や関連道路整備等を進めます。



桜並木駅イメージ

予算 24億8,218万円

9 ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり

犬猫譲渡推進事業

動物愛護管理センターに収容された犬猫の殺処分を削減するため、市民ボランティア等との共働による犬猫の譲渡を推進します。

予算 1,934万円

野良猫・多頭飼育の猫の不妊去勢手術支援

動物愛護管理センターの猫の収容及び殺処分の削減を図るため、野良猫及び多頭飼育の猫の不妊去勢手術支援を試行的に実施します。

予算 870万円

10 犯罪のない安全で住みよいまちづくり

街頭防犯カメラ設置補助金事業

防犯環境に配慮したまちづくりの推進に向け、自治協議会、町内会等を対象に、街頭防犯カメラの設置費用に対する補助を行います。

予算 4,827万円

IoTを活用した子ども見守り事業

小学生を対象に位置情報が記録できる見守り端末を無料で配付しています。

子どもが行方不明になったときに、記録された位置情報が警察に提供され、捜索に役立てられます。

予算 45万円

飲酒運転撲滅対策事業



飲酒運転の撲滅（ゼロ）に向け、地域や事業者が行う飲酒運転撲滅の取組みを促進するとともに、市民や事業者等と連携した飲酒運転撲滅キャンペーンを展開します。

飲酒運転撲滅ポスター

予算 221万円

11 安全で良質な水の安定供給

水道施設の維持・更新

安全で良質な水道水を安定的に供給するため、浄水場や配水管など水道施設の効率的な改良や更新、耐震化を計画的に進めます。

予算 182億7,354万円

12 日常生活の安全・安心の確保

健康危機管理対策

今後の新興感染症等の流行に備え、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた予防計画を策定するとともに、防疫資材の備蓄や訓練の実施など感染症の危機管理体制の強化に取り組みます。

予算 634万円

4 人と地球にやさしい、持続可能な都市づくり



13 地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築

脱炭素建築物誘導支援事業



建築物の脱炭素化を推進するため、ビルのZEB化(Ready以上)、集合住宅のZEH-M化に必要な設計費用の一部を補助します。

予算 5,500万円

事業所の省エネ設備導入支援事業

事業所の省エネに係る取組みを推進するため、照明設備及び空調設備(換気設備を含む)の更新費用の一部を補助します。

予算 4,800万円

事業所のPPAによる再エネ設備導入支援事業

事業所の温室効果ガス排出量削減と再生可能エネルギーの導入を推進するため、PPA(電力購入契約)による太陽光発電設備の設置費用の一部を補助します。

予算 800万円

次世代自動車の普及に向けた支援

ガソリン車から電気自動車等への移行を推進するため、車両の購入費用の一部を補助するとともに、充電設備の設置を拡充するなど利用環境整備に取り組みます。

予算 1億3,783万円

14 循環型社会システムの構築

プラスチックごみの分別収集に向けた取組み

プラスチックごみの分別収集導入に向け課題を検証するため、新たに戸別収集モデル事業を実施するとともに、収集後のリサイクル体制の確立に向けて取り組みます。

予算 5,840万円

15 まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり

橋本駅前地区における拠点形成関連基盤整備

駅を核とした地域の拠点にふさわしいまちづくりを行うため、民間の土地区画整理事業により、都市計画道路等の整備と街区形成を行い、都市機能や交通結節機能の強化を図ります。

予算 5億3,405万円

跡地のまちづくり

まちづくりの観点から検討が必要なこども病院などの跡地について、地域や福岡市の魅力向上につながる跡地活用の実現に向けて取り組みます。

予算 857万円

16 公共交通を主軸とした総合交通体系の構築

生活交通の支援

バス路線の休廃止に伴い公共交通空白地となる地域の代替交通を確保するとともに、持続可能な仕組みづくりに向け、オンデマンド交通の社会実験に引き続き取り組みます。



予算 1億2,611万円

17 ストックの活用による地区の価値や魅力の向上

Park-PFI制度による公園の活用推進

公園の性格や立地特性に応じてPark-PFI制度を活用し、花や緑で彩られた居心地の良い空間や、賑わいと憩いの場の創出など、魅力あふれる公園づくりに取り組みます。

予算 2,477万円

PROJECT 都市の成長 FUKUOKA

5 まちの魅力を磨き、さまざまな人をひきつけられるまちづくり



18 観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ

博多旧市街プロジェクト



博多旧市街エリアにおいて、歴史・文化に配慮した趣のある道路整備を行うとともに、世界水泳選手権にあわせたとおもてなしイベントの開催やプロモーション強化等に取り組みます。

予算 2億 1,591万円

博物館リニューアル推進事業

幅広い観光客をターゲットとした文化観光の拠点や文化を次世代へ継承する拠点等としての機能向上を目指し、リニューアルの基本設計及び収蔵庫棟増築工事の設計等を実施します。

予算 2億 5,003万円

19 来街者にやさしいおもてなし環境づくり

情緒ある路地空間の創出(西中洲)

西中洲地区の魅力づくりに向けた石畳による道路整備と景観誘導に取り組みます。

予算 1億 222万円

6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれるまちづくり



20 産学官連携による、知識創造型産業の振興

まちづくりへの水素実装

新たな需要創出に向けて、九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりにおいて、水素供給パイプラインの整備等の取組みを推進します。

予算 1億 5,586万円

水素で動く新たなFCモビリティの導入推進

給食配送車やパッカー車の導入、救急車の実証など水素で動く新たなFCモビリティの導入を推進します。



現行のパッカー車・救急車

予算 1億 1,654万円

九大新町における研究開発拠点の形成

産学連携交流センター及び研究開発次世代拠点(いとLab+)を中心として、研究開発型企業等の成長支援や、大学の研究シーズを活用した事業化の支援に取り組み、新産業・新事業の創出を図ります。



予算 3億 4,189万円

21 成長分野の企業や本社機能の立地促進

国際金融機能誘致推進事業



企業の進出会見

国際金融に特化したワンストップサポート窓口の運営や地場企業と海外投資家のマッチング事業等を実施します。

予算 1,603万円

外資系金融機関等の誘致推進

福岡市を広くPRするため、海外の外資系金融機関等を対象としたプロモーション等を行い、国際金融機能の集積に繋がります。

予算 3,466万円

22

地域経済を支える地場中小企業
などの競争力強化

中小企業デジタル化サポート事業

中小企業に対して、デジタル化の必要性や成功事例等をテーマとしたセミナーを開催するとともに、ITツール等の導入及び活用に向けた伴走型支援を実施します。

予算 1,507 万円

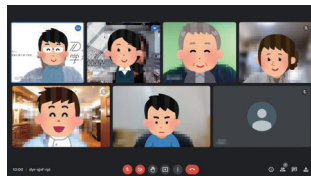
中小企業における脱炭素経営サポート事業

中小企業に対して、脱炭素経営のメリット等をテーマとしたセミナーの開催や脱炭素経営の実現に向けた伴走型支援を実施します。

予算 802 万円

生産性向上のための人材育成事業

デジタルに対する経営層の意識を変革する経営セミナーや、社員を対象としたIT導入スキル養成講座を実施し、生産性向上のためにデジタル化を推進する人材を育成します。



IT導入スキル養成講座の様子

予算 1,281 万円

商店街地域観光連携事業

商店街の新たな賑わいを創出するため、専門家等を派遣し、商店街の観光資源化や周辺の観光施設との連携に向けた計画策定、イベント実施等を支援します。

予算 2,204 万円

福岡伝統産業オープンイノベーション事業



博多織・博多人形・博多曲物

異分野・異業種の技術やアイデア等を取り入れた新しい製品・サービスの開発や展示会等での発表、新たな市場の開拓などを支援し、後継者発掘にもつなげていきます。

予算 458 万円

23

農林水産業と
その関連ビジネスの振興

油山牧場・市民の森リニューアル

事業者のノウハウを活かした飲食・物販、自然体験、宿泊施設等の整備を行い、油山牧場及び油山市民の森の一体的な運営を開始します。

予算 4億232 万円

地域資源活用型農業チャレンジ事業

原料の多くを輸入に依存している肥料や飼料について、地域資源を活用するチャレンジを支援することにより、国際市況等の影響を受けにくい農業への転換を促進します。

予算 787 万円

国際認証(水産エコラベル)支援事業

香港・シンガポールへ輸出している「唐泊恵比須かき」のブランド力向上・輸出拡大のため、資源管理や環境配慮への取組みを証明する国際認証の取得経費の一部を助成します。

予算 320 万円

24

就労支援の充実

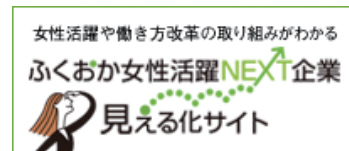
就労相談窓口事業、ミドル世代就職支援事業

各区の就労相談窓口で、寄り添い型の個別相談や職業紹介などを行い、求職者の就労を支援します。あわせて、ミドル世代専用の相談窓口を設けるなど、きめ細かに支援します。

予算 5,265 万円

女性活躍推進事業

女性特有の健康課題や不妊治療等と仕事の両立に関する企業への啓発や、男性の育児休業の取得促進、女性のための起業支援等に取り組みます。



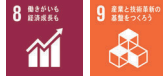
予算 1,617 万円

シニア活躍応援プロジェクト

高齢者の就業支援や企業への雇用の働きかけ、シニア・ハローワークを活用した支援を展開するとともに、自分が望む働き方を考え、必要な知識・スキルを得るための学び直しの機会を提供します。

予算 2,000 万円

7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出すまちづくり



25 新たな価値を生み出す創造産業の振興

クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業

「The Creators」等を開催し、国内外に向けたブランド化を図るとともに、クリエイティブ関連産業の集積を目指します。

予算 8,738 万円

音楽都市振興事業

福岡音楽都市協議会と連携し、ビジネスの活性化に向けた取組みや音楽関連情報の一元的な発信、人材育成事業を実施するほか、ストリートピアノ等を通じたまちの賑わい創出に取り組めます。

予算 1,478 万円

8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となるまちづくり



26 高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり

アイランドシティ整備推進

アイランドシティにおいて、先進的モデル都市づくりや国際物流拠点の形成に取り組めます。

予算 58 億 2,355 万円

27 国際的なビジネス交流の促進

海外ECトライアル推進事業

越境 EC やオンライン展示会等を活用した海外販路拡大に新たにチャレンジする市内中小企業等を支援します。

予算 771 万円

28 成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり

博多港の機能強化

国際海上コンテナ取扱個数の増加に対応するため、さらなる物流の効率化を図るとともに、コンテナターミナルの機能強化に取り組めます。

予算 15 億 7,618 万円

博多港脱炭素化推進事業(カーボンニュートラルポート形成推進)

博多港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組みを官民で連携して推進します。

予算 2 億 8,128 万円

空港機能強化の促進

福岡空港の増設滑走路の令和6年度末供用開始に向けた取組みを国や県とともに推進します。



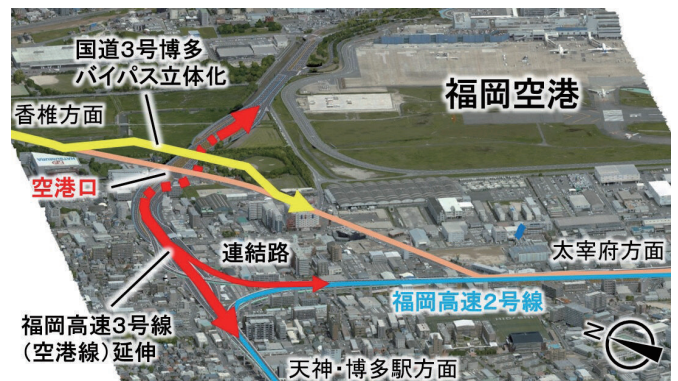
福岡空港 (航空写真)

予算 17 億 1,598 万円

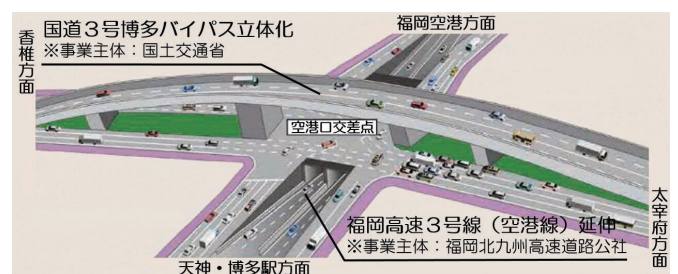
福岡高速3号線(空港線)延伸事業

福岡市南部地域や太宰府方面から福岡空港国内線旅客ターミナルへのアクセス強化等を図るため、福岡高速3号線延伸事業を推進します。

(事業主体：福岡北九州高速道路公社)



福岡高速3号線延伸のイメージ図



空港口交差点の交差イメージ図

予算 11 億 2,000 万円

みんなで作る 福岡市の将来計画 プロジェクト



私たちが住む福岡市を次世代に引き継ぎ、さらに魅力的なまちにしていけるため、市の将来の方向性を定める新たな「基本計画」を、市民の皆様と一緒に作るプロジェクトを実施しています。皆さまのご意見をお聞かせください。

[詳細はこちら](#)

受付期間

令和5年10月末まで



新たな「福岡市基本計画」の策定に向けた検討

子どもや若者をはじめ、市民等から幅広く意見を募集する市民参加プロジェクトを実施するとともに、次期基本計画の素案の検討を行います。

分野別基本計画の改定に向けた検討

「福岡市基本計画」の策定と連動しながら、改定に向けた検討に取り組みます。

- 都市計画マスタープラン
- 都市交通基本計画
- 緑の基本計画